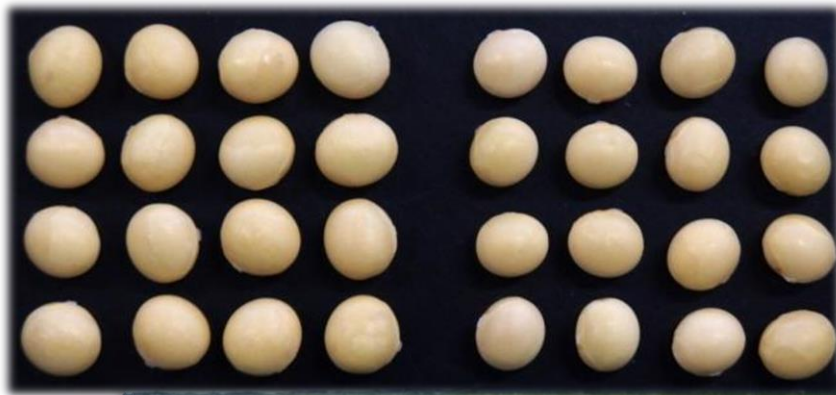


平成27年度 産地ブランド発掘事業

大豆晩生新品種

里のほほえみ

～ 栽培暦と品種の特性 ～
(暫定版)



大粒で、品質に優れる
「里のほほえみ」登場!

平成28年3月
新潟県農林水産部

里のほほえみ栽培暦 平成28年新潟県版

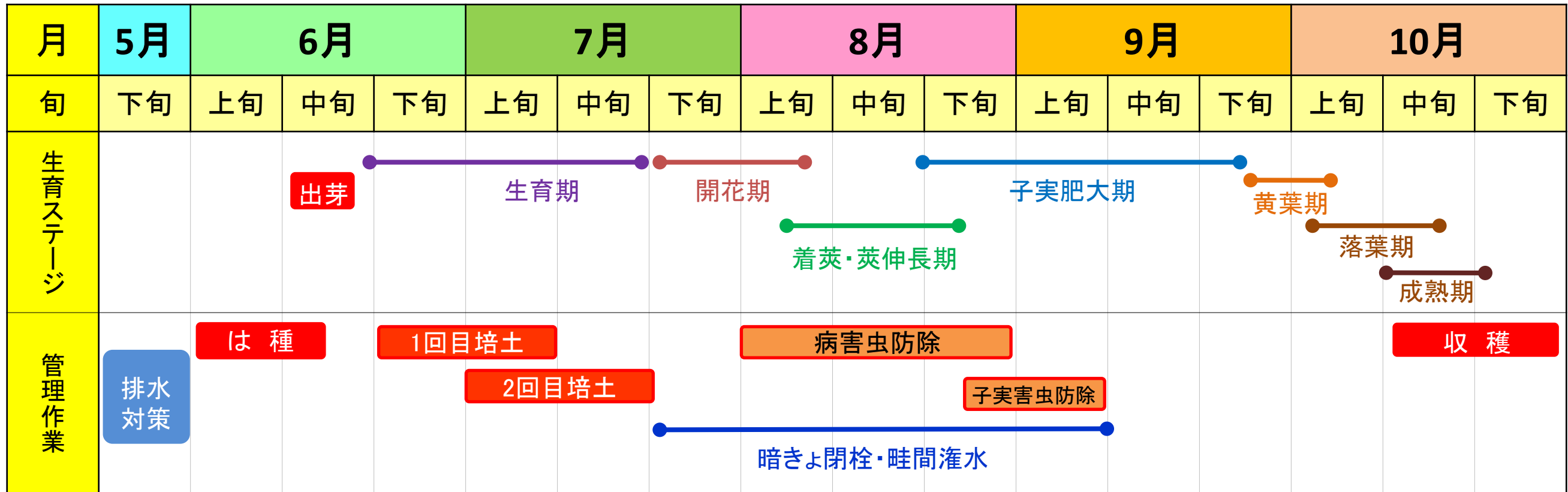
【品種の特徴】

- ・エンレイより成熟期が7～10日遅い晩生品種
- ・エンレイより粒が大きい
- ・茎が太く倒伏しにくい
- ・成熟しても莢がはじけにくい
- ・最下着莢位置が高く収穫ロスが少ない
- ・花色は白色でエンレイと区別できる
- ・ダイズモザイクウイルスに強い、センチュウに弱い

【栽培のポイント】

- ・裂皮しやすいので、早播きを避け、6月に入ってからは種する。
- ・種子が大きいので大粒用のは種目皿等を使用する。
- ・基肥は窒素1.2～2.5kg/10a、リン酸・カリ6～8kg/10aとする。
- ・栽植密度はエンレイより密植の13本/m²程度をめやすとする。
- ・ウコンノメイガの発生に注意し、葉巻の発生初期に防除実施。
- ・黄葉期から成熟期までの期間が長めの品種なので、子実や莢の水分を定期的を確認して収穫適期を判断する。
- ・成熟期を過ぎるとしわ粒が増加するため、適期に収穫する。
- ・コンバインの能力に応じて収穫スピードを調整する。

成熟期生育のめやす	
主茎長	65～70cm
主茎節数	14～16節
分枝数	4～6本/株
最下着莢高	18～20cm
有効莢数	450～550莢/m ²
百粒重	38～40g
収量	270kg以上/10a



裂皮防止のため、は種は6月に入ってから！

栽植密度は13本/m²がめやす

開花期はエンレイより2～3日遅い
花色は白色



葉色が濃いためウコンノメイガの発生に注意



成熟期はエンレイより7～10日遅い

は種目皿等は大粒用に交換！
種子が大きいので、中粒用では詰まる場合があります。



梅雨明け後は暗きよを閉じて、干ばつを回避しましょう！

晩生品種のため黄葉期から成熟期までの期間がエンレイより長くなります。

「里のほほえみ」特性比較

	里のほほえみ	エンレイ
開花期(月日)	7月25日	7月23日
成熟期(月日)	10月18日	10月9日
主茎長(cm)	64	51
主茎節数(節)	15.3	13.4
分枝数(本/株)	5.0	4.2
最下着莢高(cm)	17.6	11.5
有効莢数(莢/m ²)	537	622
百粒重(g)	39.5	34.8
収量(kg/10a)	380	346
しわ粒発生率(%)	9.6	21.2

新潟県作物研究センターにおける平成25-27年平均



○「里のほほえみ」の子実成分

豆腐加工性と関連が高いタンパク質含量、味噌及び納豆加工性と関連が高い炭水化物量はエンレイと同等である。

○加工性

豆腐及び納豆の加工適性は、産地間による違いはあるものの概ねエンレイと同等である。

味噌の加工適性は、大豆処理方法と産地間による違いがあるものの、概ねエンレイと同等である。